

昭和六十二年予算成立

総額二億七、六七二万円



光町長
齊藤 讓

道路整備、防災対策、学校図書 生活環境等に重点的に配分

昭和六十二年の町をとりまく財政環境は、国の行財政改革の影響を受け非常に厳しい環境下において、当町は、第八次三カ年実施計画を基調として、みんなの力で活力ある調和のとれた町づくりを推進すべく、住民生活優先の積極予算を編成しました。

昭和六十二年度は、前年度に引き続き国道及び鉄道を南北に横断する基幹農道整備事業、観光開発の拠点となる海岸道路整備事業、防災対策としての広報手段となる防災行政無線設置事業、快適な生活環境づくりとして、生活雑排水路等の整備事業を投資的事業の中心施策として重点的に財源を配分したところ

であります。

他の投資的事業についても、住民生活に密着した足もと道路整備事業、当町の基幹産業である農業振興対策として、農道舗装事業及び県営圃場整備事業、水田農業確立対策事業に関連した転換水田整備事業等を積極的に推進すべく予算を計上しました。

また、住民生活の安定と向上を図るべく各種福祉施策及び、各種保健活動の充実事業、地域性を活かした特色ある教育行政の充実等についても、引き続き積極的に推進してまいります。しかしながら、国家予算、地方財政計画等から推察すると、その財源確保にかなりの困難が

予想されるところですが、歳入の主体をなす町税は、最近における社会経済情勢等の変化に即応して税制全般にわたり抜本的改正が行われることになり、不透明な部分が多く苦慮したところであり、その他地方交付税を始めたとする各財源については現段階で見込める可能な限りの額を積極計上しました。

昭和六十二年度もすでに執行段階に入っておりますが、今後更に限られた財源の効率的運用を図り、行財政水準の向上に努力してまいります。

主な事業計画

単位：万円

事業名	総事業費	説 明
道路整備事業	20,688	観光道路整備事業（2,438号線）1,137m 舗装事業（4路線）1,730m、拡幅工事（4路線）531m 直営舗装工事、交通安全対策工事
農免道路整備事業	11,101	道路用地買収事業、橋梁工事等県委託
生活雑排水対策事業	580	生活雑排水路整備事業 995m、簡易浄化槽設置事業
農業振興事業	5,244	水田農業確立対策事業、土地改良事業、農業近代化施設整備事業 排水事業補助金、団体営農道整備事業、ねぎ共同防除事業 天災資金及び近代化資金利子補給事業
消防施設整備事業	3,120	防災行政無線設置工事、ポンプ自動車1台、 防火水槽有蓋工事4ヶ所
学校施設整備事業	2,747	各小中学校児童、生徒用図書及び教育備品購入事業 給食センター食缶方式変更工事及び備品購入事業
コミュニティ活動事業	315	ふるさと祭事業等補助金、町民号負担金
老人福祉事業	590	ねたきり老人福祉手当及び重度痴呆性老人福祉手当 老人クラブ運営費補助金等
児童福祉施設整備事業	117	児童遊園整備工事及び遊具修理